

テクノフェアでは、今後大きな成長やビジネスチャンスの可能性が見込めるテーマにそって特別展を開催しています。今回は「ニューノーマル時代の新技術」と題し、2テーマで展示・実演を行いました。

特別展

①最新のコロナ対策技術

コロナ禍で普段の働き方や暮らしが変化する中で、新たなコミュニケーションを支える技術を紹介。非対面・非接触で効率化を実現する遠隔接客サービス、複合現実遠隔会議システムなどのデジタル技術や、抗菌・抗ウイルス技術を応用した繊維加工、透明ディスプレイパーティションなど新型コロナウイルス感染防止技術を展示しました。また、デモンストレーションタイムでは各ブースの展示を、会場内モニターで放映。機器の動きや機能などをより多くの方に披露していただきました。



②脱炭素社会に向けたエネルギー関連技術

年間で12億トン以上排出される温室効果ガスを、2050年までに全体としてゼロにする「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が国の目標として掲げられています。脱炭素社会とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの実質的な排出量をゼロにする社会を指します。脱炭素のための技術が産業構造や経済社会に変革をもたらす、新たな需要が生まれることが想定される中、その足掛かりとなる水素技術やこれまでにないエネルギー関連技術について展示紹介しました。



記念講演会 「水素社会の実現に向けて」

講師：岩谷産業株式会社 代表取締役 社長執行役員 間島寛氏 会場：福井県生活学習館

テクノフェアでは記念講演会として、日本を代表するものづくり企業の経営者を招き講演会を開催しています。今回はガス、エネルギー事業を展開し、水素産業を牽引する岩谷産業株式会社の間島寛社長から脱炭素社会に向けた同社の取り組みについてご講演いただきました。講演では、「水素は、環境問題とエネルギー問題の両方を解決することができる。」と水素エネルギーの可能性について力強く語られていました。



聴講者：会場 360名 オンライン 180名

新製品・新技術公開プレゼンテーション

保有する技術シーズや研究成果、最新製品、事業化事例などについて出展者によるプレゼンテーションが行われました。プレゼンテーション終了後は、受講者が活発に名刺交換を行い引き続き意見交換する姿が見られました。

発表者：10社・団体

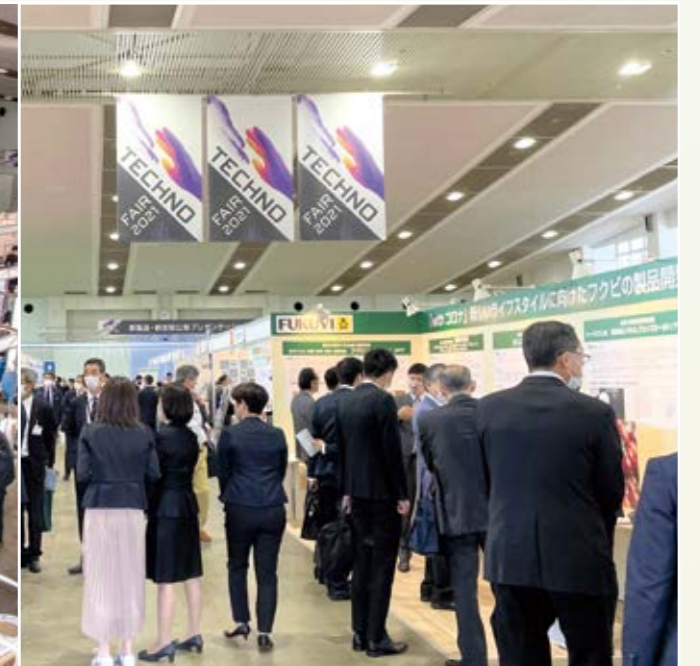


TECHNO FAIR 2021

北陸技術交流 テクノフェア2021

開催のご報告

北陸最大級の総合技術展示会「北陸技術交流テクノフェア2021」は、福井県産業会館をメイン会場としたリアル展示に加え、Web上でも製品紹介・商談につながる環境を構築したニューノーマルな展示会として開催。32回目を迎えた今回、北陸地域をはじめ全国から企業・大学・研究機関等144社・団体が出展し、優れた技術・製品を展示・PRしました。



多数の方々のご来場、誠にありがとうございました

開催結果

出展者数：144社・団体（うち24社・団体はWeb展示のみ）
 リアル展示：2021年10月21日（木）・22日（金）
 会場：福井県産業会館（メイン会場）、福井県生活学習館
 来場者数：10月21日（木）5,936人、22日（金）5,250人
 Web展示：2021年10月4日（月）～11月30日（火）※会期延長
 主催：技術交流テクノフェア実行委員会



東京都・東京商工会議所グループ出展（20社、上写真）、株式会社日伝のMEKASYS展（16社）との連携もフェア全体に賑わいを生み出した今回のみどころでした。